

三度目の正直ならず——朝鮮／韓国語

池上貞子

この特集は「外国語を学ぶ楽しみ」なので、ふつうならば習った外国語が上手になった話を期待するかもしれないが、わたしの場合は楽しいけれどもがんばりぬかなかったために、結局はちゃんとモノになっていないという失敗談である。

わたしはこれまでに三度朝鮮語にチャレンジしている。一度目は一九六〇年代末、全共闘運動華やかりし頃で大学もロックアウト。自由のような、とは言えどこか不安な日々だった。中国語を専攻していたわたしは、もともとできれば他のアジアの言語も習ってみたいという気持ちがあり、友人に誘われたのを機に習いはじめた。と言っても当時、母校の東外大にさえ朝鮮語科がなかった時代で、教える場所も限られていた。わたしが習ったのは、金嬉老公判対策委員会というところで、生徒は政治運動などからはみだしたような人たちばかり。先生のKさんは後に東大かどこの教員になった。

K先生は人柄も教え方もとてもまじめで、後にテキストも出

した。わたしはハンゲルの読み方はここで基本的にマスターした。会話などはあまり上達しなかったが、当時流行っていた「臨津江（イムジンガン）」や「アリラン」「トラジ」などを原語で習ったりした。自分の結婚式で勉強仲間と「トラジ」を歌った。今から考えると、あまり結婚式にふさわしい歌とも思えないが、とにかく朝鮮語を習っていることをみせびらかしたかったのかもしれない。

その次は、大学院時代に国際電話交換のアルバイトをしていたKDDで習った。今のように家庭から家庭へダイレクトにというわけにはいかないが、発信国のオペレーターが直接相手国の家庭を呼べるようになりはじめていた頃で、採用条件の英語以外に、人の所在をたしかめるための最低程度の会話を各国語で習った。そこでの朝鮮語の勉強のことはあまり多くは覚えていないが、忘れられないことがある。入社してまもなく、よど号ハイジャック事件が起こった。すると、それまで直接交信す

ることのできなかつた北朝鮮に、北京経由で電話が通じたのである。もちろんオペレーターからオペレーターというだけであるが。それにしても、すこし前までは通話のできない国として扱われていた相手が、緊急事態となれば、ソクつながる、ということが、非常な驚きだった。

三度目は大学院を出てからだ。卒業してもすぐには中国語関係の仕事のない時代で（ちょうど日中国交回復の頃で、その数年後、今度は逆の現象が起きるようになった）、東京の千石にある海外技術者研修協会というところで、非常勤講師としてアジア・アフリカからの研修生に日本語を教えていた。その母体はアジア文化会館といい、建物もその名前で、当時も今もアジアからの留学生の寮になっている。そこで東大の大学院に留学していたチャン（張）さんという男性に韓国語を教えてもらった。生徒はムン（文）さんという在日の若い女性と、もうひとり誰か一緒だったような気がする。ムンさんは三鷹にあるアジア・アフリカ外国語学院でも学んだことがあると言っていた。母国の言葉を知らなくてはとシヤカリキになるのではなく、ゆったりとした人だったが、何か信念のようなものは感じた。今風の言い方をすれば、自らのアイデンティティを探していたのだろうと思う。

チャンさんは博識で人柄もすばらしく、民族や身分、金銭に関係なく、上質の人間というのはこういう人を言うのだろうと思つた記憶がある。ハンゲルで無声音をあらわすㅇが、本当は

上に少しだけ突き出っていて、その突き出した部分で筆をおろし、それから左まわりで下に円を描いていくのが上品なのだと思つた。韓国の特権階級ヤンパン（両班）のような社会制度に關することや、父親の前では顔を背けてお酒を飲まなければならぬというような生活習慣のことなど、言葉以外のこともずいぶん教えてもらった。もしかしたら、わたしが今中国語を教えるとき、無意識にその方法に倣っているかもしれない。

今でも覚えているのは、同姓の人が多い韓国では、出身地が同じだと、結婚できないという話だった。だから韓国では若い男女が知り合うと、まず出身地をたずね合う、そして同じだったら恋愛感情を抱かないようにするのだと言う。それでも好きになつたら？ と食い下がると、そんなことはありえない、と穏やかな笑顔が返ってきた。その話の続きで、逆に近親婚の多い日本の上層階級の話が話題になった。チャンさんもムンさんも、特定の声を聞くと、鳥肌が立つ、あれは代々血が重ねられてきたせいだと、同じ意見だった。

そんなこんなで都合三回、朝鮮／韓国語を習いはじめたが、結局今でもモノになっていない。その原因はわかっている。敬語の複雑な韓国語には動詞の活用だけでも七種類ある。孤立語で、活用というものがない中国語で横着を知つたわたしが、活用形を覚えるのを怠けているからである。この小文を書いたことで、四度目のチャレンジがあるかどうか。